

目標達成計画

作成日: 平成 22 年 11 月 16 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画書は誰が見ても、分かりやすい記載内容が望まれる。そのため記載内容の書き方などを改善することが望ましい。	介護計画書を誰が見ても分かりやすい記載内容とする。介護支援とプランの結び付きの大切さを記載する。	ケアプラン、介護計画を手書きよりワープロ化している。常に身体状態が変化した場合は率先して、即手軽に書き直せる様なケアプランとする。様式においても、時代に応じて、最新改善する項目があればケアマネージャーと管理者がミーティングを行い改善することに取り組む。	6ヶ月
2	35	災害対策: 消防署による訓練内容の確認、指導を行ってもらうと共に、消防署にもホーム火災の時の消火及び避難誘導を周知してもらうことが大切であり、消防署員の参加を望む。また、地域の協力体制を望む。	消防署による訓練内容の確認、指導を行ってもらうと共に、消防署にもホーム火災の時の消火及び避難誘導を周知してもらうことが大切であると認識する事。また消防署員の参加を望む。また地域では、町内の役員会の会議で火災訓練、避難訓練への地域の協力体制を要請と支援をお願いする。	ホームとしては一ヶ月に一度の火災避難訓練を行っているが、確認と指導をして貰うまでの段階には達しておらず、まず避難訓練をスタッフが今年度どのような初期消火や避難方法が最適かをスタッフ全員の参加によって話し合い、また江口孝則総括施設長が現職の消防団員として、現場指導をしている。ほぼ満足な避難についての訓練が完了した段階で、消防署よりの指導を受ける事にする。また消防署においては、夜間の火災避難訓練の指導を要請したが、昼間で夜間を「想定」した訓練しか出来ないとの事の返答があり、過去2回のグループホームでの火災は深夜であり、実際の夜間でなければ昼間とのその時の実践状況は違うのではないかと疑問に思っているため、再度の要請を行う事としている。地域の協力体制では今年11月より江口フサコ施設長が、町内班長と民生委員に就任した為、町内の役員会の会議で火災訓練、避難訓練へ地域の協力体制を要請と支援をお願いする。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。